



令和6年度林業イノベーションハブ構築事業

第3回 専門委員会 事業内容の実施状況（最終報告）

日時 | 令和7（2025）年 1月 27日（月） 09:30～12:00

場所 | 日林協会館 3階 大会議室

Web会議「Webex」を併用



一般社団法人 日本森林技術協会
Japan Forest Technology Association

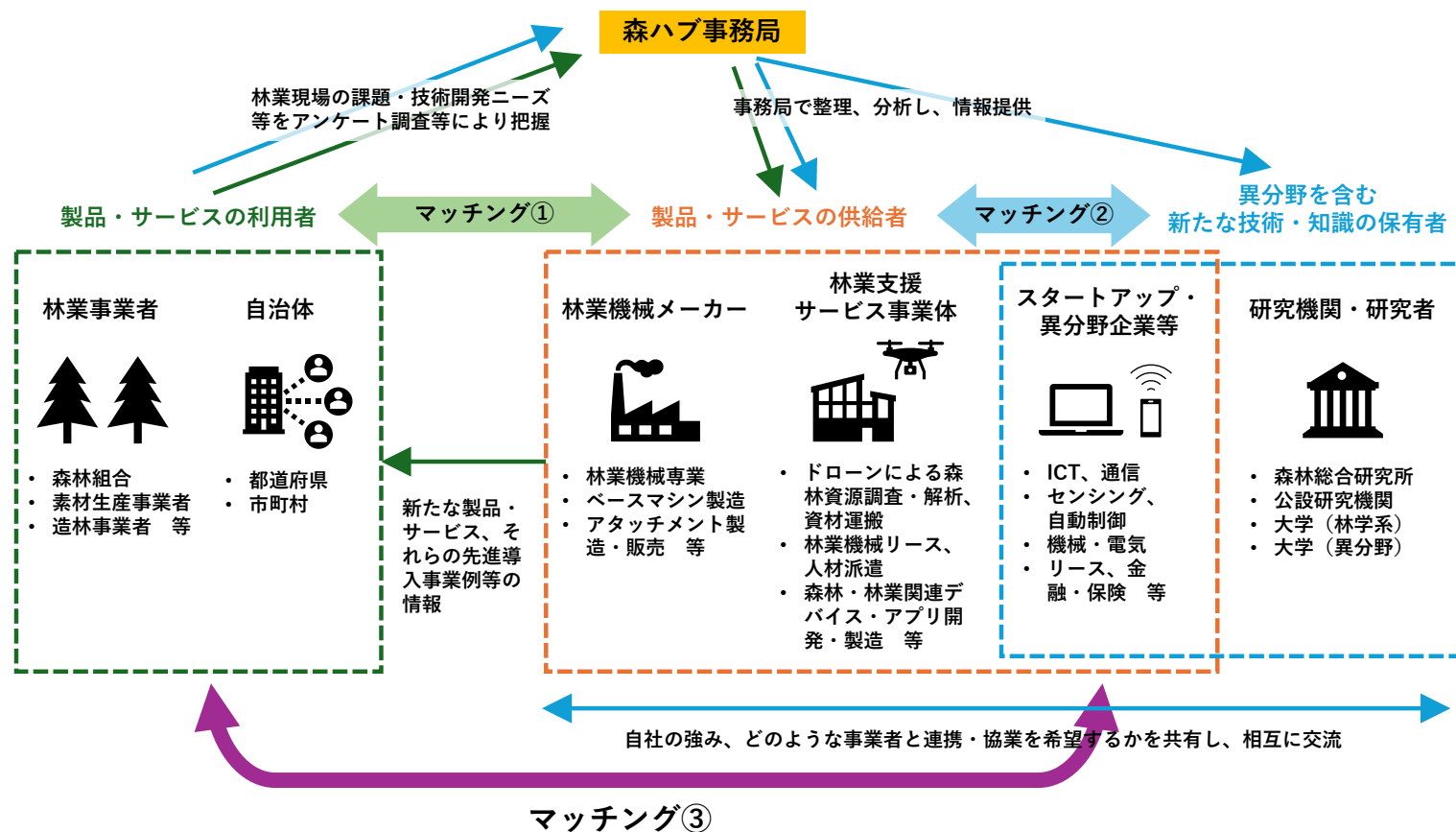


一般社団法人 社会実装推進センター

JISSUI

1. 森ハブ・プラットフォームのイベントについて
 - 深掘りイベントの座談会の成果概要
 - 2月シンポジウムの実施予定の報告
2. 森ハブ・プラットフォームの今後の運営方針
 - 森ハブPFの実施と会員の状況
 - 森ハブPFの会員の細分化
3. その他
 - デジタル分科会の実施概要
 - 安全対策検討会の進捗状況
 - 宮崎県南那珂地域への伴走支援のフォローアップ
 - 今後のスケジュール

- 森ハブ・プラットフォームで目指すマッチングのイメージを念頭に置き、**林業×異分野の関係者等の会員がつながることができる場を形成し、マッチングを推進**する。
- 年度内に4回程度を目安にイベントを開催する。
 - 一般参加型イベント：① 9/20 実施済、② 2/6 未実施（後述スライドにて内容報告）
※翌年2月予定のイベントは、シンポジウム等による成果の発信と合同開催とする。
 - 深掘り情報提供（深掘りイベント）：11月予定だったが、2月提供（森ハブHP等で提示）へ変更



1-2. 深掘りイベントの座談会の成果概要①

- **林業界と新規事業参入者の多対多のマッチングではなく、森ハブ事務局（JISSUI中間氏）をファシリテーターとし、少人数精鋭の座談会によって、課題抽出（質の高いヒアリング・インタビュー）を行う。**
 - リアルタイム配信は実施せずに、**①アーカイブ記事、②レポート（PowerPoint形式）**の2つを成果品として、森ハブHPやFLAGにて掲載する。これにより、**モチベーション・リテラシーの高い事業者向けに、より深掘ったニーズの情報提供を行う。**

森ハブ情報提供資料（資料3-1：PowerPoint形式）

林業業界のDX・イノベーションの要となる“データ活用力”と“新たな付加価値”について

□ 主な構成

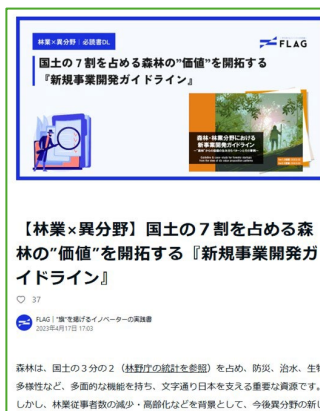
- **背景** 林業業界のDX・イノベーションの課題
- **深掘りテーマ①** 林業業界の“データ活用力”を考える
 - 持続的イノベーションに関するポイントを議論
- **深掘りテーマ②** 木材の“付加価値を高めるデータ”とは何かを考える
 - 破壊的イノベーションに関するポイントについて議論

12月4日 座談会を実施

- ・宮城十條林産
- ・株式会社マプリー
- ・株式会社森淵林業（事前打合せ）

11月27日 座談会を実施

- ・アトリエフルカワ級建築事務所
- ・株式会社日建設計
- ・テラオホールディングス株式会社



資料3-2の内容は、右図のHPにおいて、記事を一般公開し、幅広く普及周知する。

※スライド5の【参考】に記事のプレビューURLを記載

出典：JISSUIが運営する情報発信媒体

図 FLAG～”旗”を掲げるイノベーターの実践書～

森林・林業の分野で、外からはわかりにくい森林を活用した価値の生み出しには「パターン」がある【4パターン】時間的価値創造（売上アップ）森林ファンディング活用

【参考】深掘りイベントの座談会の成果概要②（記事プレビュー）

資料3-1、資料3-2も参照

記事テーマ①

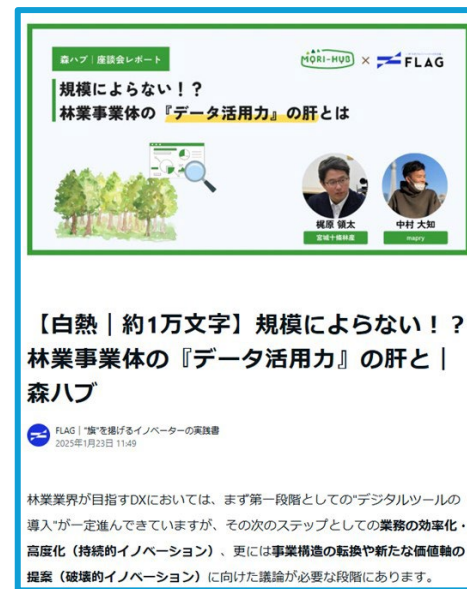
規模によらない！？林業事業体の『データ活用力』の肝とは

https://note.com/preview/ndad48dda80ab?prev_access_key=0794940d82a8e17ad97807ce5d654b1d

記事テーマ②

先駆者に“木材の川下領域”の『新しい付加価値』を根掘り葉掘り聞いてみた

https://note.com/preview/n3f22541039a5?prev_access_key=0b508786195383fc06798076a5712aa7



1-3. 2月シンポジウムの実施予定

題目 令和6年度 林業イノベーション現場実装シンポジウム～新技術が拓く林業の未来～

日程 令和7（2025）年2月6日（木）13:00～17:30

会場 主婦会館プラザエフ 7階 カトレア（東京都千代田区六番町15）

参加者 ☐ 200名（森ハブ会員＋一般参加者を募集） ※募集は1/6～開催日まで実施
☐ スクール形式

目的 ☐ 森林調査から木材生産・流通に至る林業活動に、デジタル技術をフル活用する「デジタル林業」の実践に取り組む3地域からの報告を行う。
☐ 3地域の報告後、パネルディスカッションとして3地域＋コーディネータを交え、「林業のデジタル化はどこまで来たか」をテーマに意見交換を行う。

概要 ☐ 森ハブ事業報告（林野庁＋日本森林技術協会）
☐ デジタル林業戦略拠点構築推進事業報告
 ■ 3地域（北海道・静岡県・鳥取県）の成果報告
☐ 森ハブ事務局の支援内容等について（森ハブ事務局：日林協）
☐ パネルディスカッション（登壇者・ファシリテータ：計7名）
 ■ 参加者の質疑応答は「Slido（スライド）」というアプリを使用する（使用感等を確認する目的で実施）。
 ■ アプリでリアルタイムに質疑を確認することが可能で、質疑の選定はファシリテーターが実施する。



図 2月6日シンポジウムのリーフレット

1. 森ハブ・プラットフォームのイベントについて

- 深掘りイベントの座談会の成果概要
- 2月シンポジウムの実施予定の報告

2. 森ハブ・プラットフォームの今後の運営方針

- 森ハブPFの実施と会員の状況
- 森ハブPFの会員の細分化

3. その他

- デジタル分科会の実施概要
- 安全対策検討会の進捗状況
- 宮崎県南那珂地域への伴走支援のフォローアップ
- 今後のスケジュール

2-1. 森ハブPFの実施と会員の状況①（全体像）

再掲・朱書追記

- R5森ハブにおいて「森ハブ・プラットフォーム」を設置した。
- R6森ハブでは、設置要領・参加規約（R6.7.17 改正）に基づき、下表のとおり取組を実施する。
 - 設置要領・参加規約は会員の在籍・退会の対応（一定期間メール不達の場合は退会処理）を整理し、再度、11月22日で改正した。

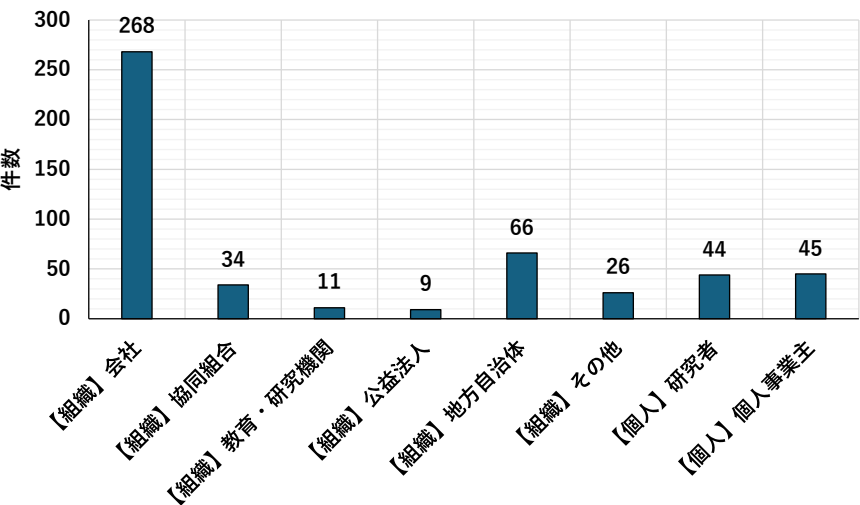
No.	実施内容	概要
1	森ハブ専用ホームページの開設	◇ 事務局の業務を効率的に、効果的に実施することを目的として開設する。 ◇ 会員、イベント等の申し込みフォームを設置する。 ◇ わかりやすい形で技術情報を掲載する。 ◇ 令和6年8月9日に森ハブ専用HPが完成し、各種情報の公開を開始した。 ◇ 追加作成していた「技術情報」ページを12月27日から公開を開始した。
2	PF会員登録等 会員へのアンケート （結果とりまとめ）	◇ 林業現場の課題・ニーズおよびそれらの解決に資する技術シーズ等に関する情報を収集することを目的として実施する。 ◇ とりまとめた結果を基に、情報発信およびイベントの企画等を実施する。 ◇ PF会員への支援を目的に、メルマガ配信（11月1日付～）を実施する。 ◇ 入会時に会員へ依頼し、任意作成・提出してもらっている「会員紹介シート」を、会員限定「情報共有フォルダ（OneDrive）」を作成し、12月2日から公開を開始した。
3	イベント開催	◇ 林業と異分野の関係者等の森ハブ・プラットフォーム会員がつながることができる場を形成して、マッチングを推進するため、4回（対面型、レポート公開型）のイベントを開催する。 ◇ 令和6年9月20日に1回目の大規模イベント（対面型）を実施した。 ➢ 参加者に対してイベント開催後アンケートも実施済み。 ◇ 深掘りイベント2回分（情報提供：アーカイブ記事・レポート公開のみ）を、2月3日に公開を予定している（2月6日のシンポジウムにて普及周知予定）。 ◇ 令和7年2月6日に4回目の大規模イベント（対面型）としてシンポジウムを実施する。 ➢ 参加者に対してシンポジウム開催後アンケートも実施する。 ◇ マッチングの推進（ピッチプレゼンの代替）として、会員に対して一般公開可能な動画の提供を依頼する（2月中に募集→3月14日までに公開予定）。
4	ワーキング・グループの設置・運営支援	◇ 会員向けにワーキング・グループの設置希望の有無を調査する。 ◇ 設置することとなった場合は、運営支援および会員への情報提供を行う。 ◇ WG設置支援を希望する会員を10月中に募集・審査し、11月に採用を通知した。また森ハブ専用HPやメルマガ配信で情報提供を行った。

2-2. 森ハブPFの実施と会員の状況②（登録状況1）

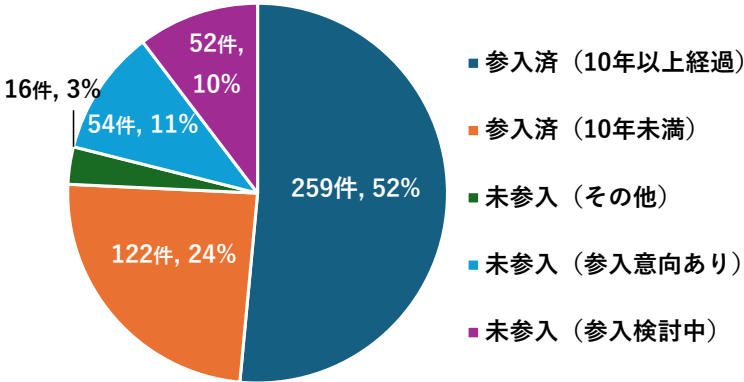
「森ハブ・プラットフォーム」の会員登録等の状況は、下記のとおり（令和7年1月22日時点）。

会員数 503 件（2025年1月22日時点（前回から+12））

会員の事業形態



会員の森林・林業分野への参入状況

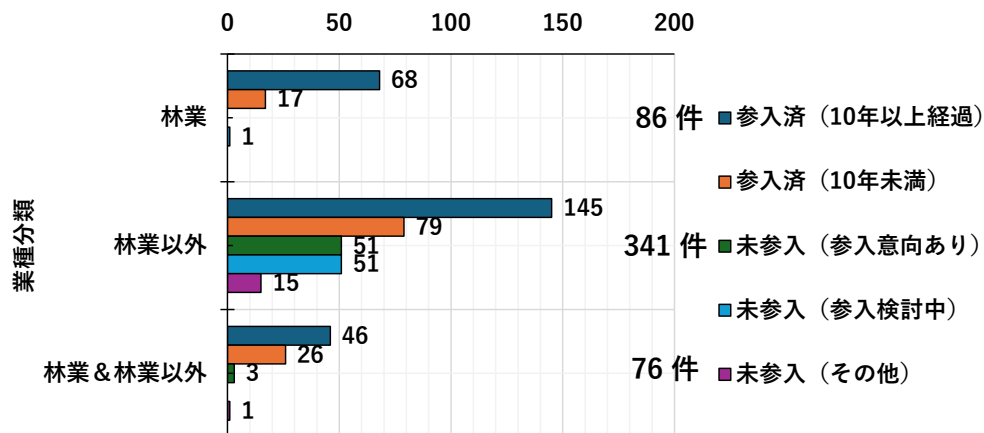


全会員の業種（複数回答）

業種	件数
林業	322
林業支援サービス業	114
農業・漁業	10
鉱業	2
建設業	43
製造業	90
電気・ガス・熱供給・水道業	11
情報通信業	38
運輸業・郵便業	2
卸売業・小売業	24
金融業・保険業	9
不動産業・物品賃貸業	10
学術研究・専門・技術サービス業	78
宿泊業・飲食サービス業	3
生活関連サービス業・娯楽業	6
教育・学習支援業	13
医療・福祉	1
その他サービス業	64
公務	78
その他	19
総件数	937

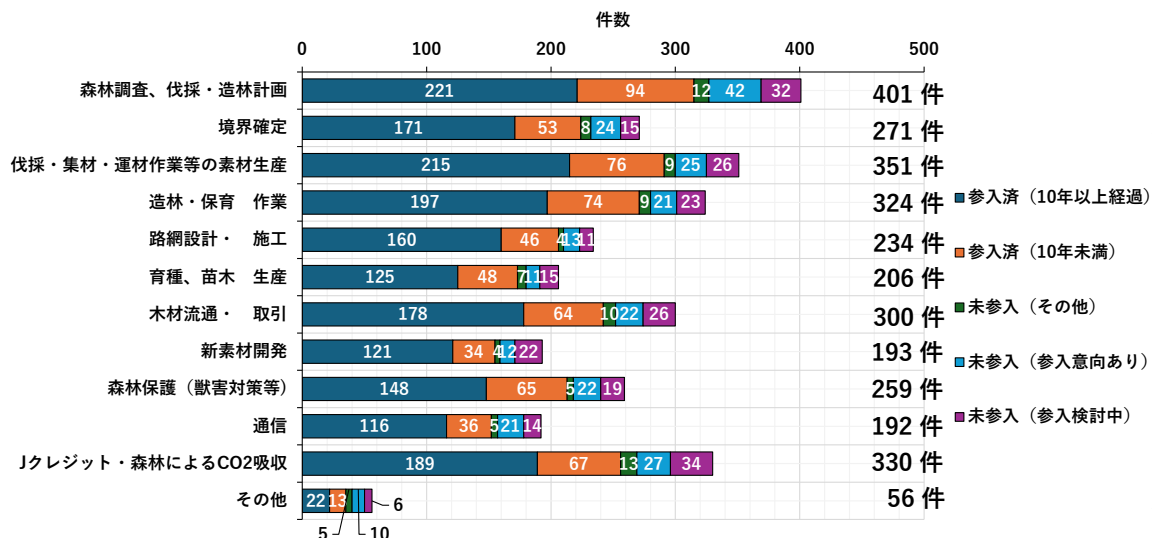
2-2. 森ハブPFの実施と会員の状況③（登録状況2）

会員の参入状況と業種分類

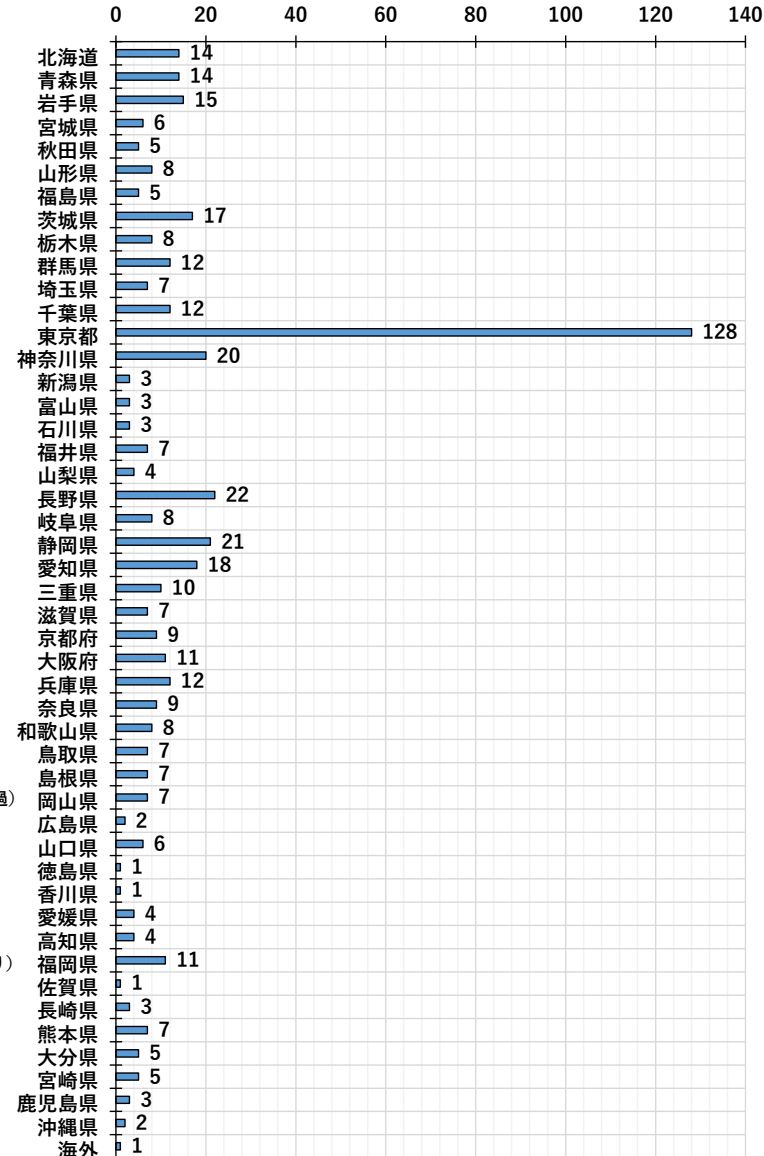


注：「林業」は業種が「林業（XXX）」のみ。「林業以外」は業種が「林業（XXX）」が含まれない。「林業&林業以外」は、業種が「林業（XXX）」「林業以外」が含まれる。

森林・林業分野への参入状況と興味関心のある領域（複数回答）



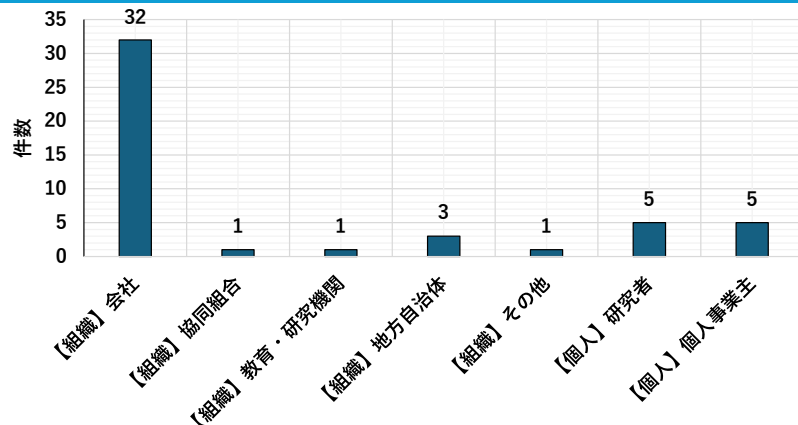
所在地別の会員数



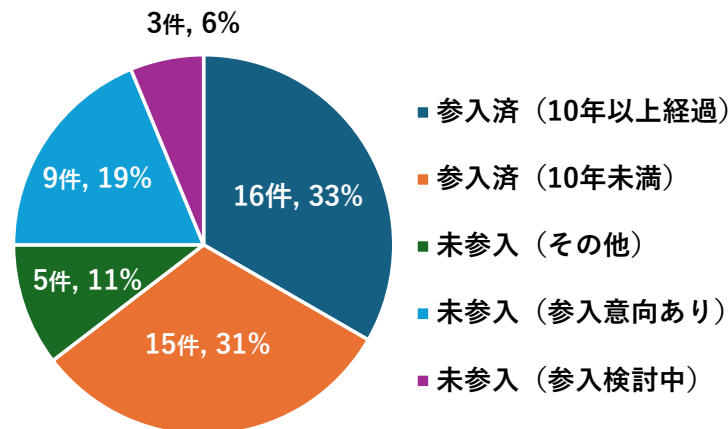
2-2. 森ハブPFの実施と会員の状況④（登録状況3） ※今年度抽出

会員数 48 件（2024年4月1日から2025年1月22日まで）

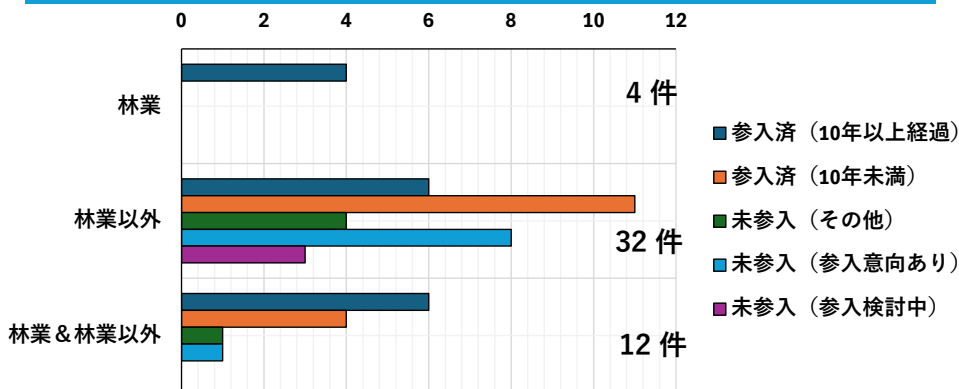
会員の事業形態（R6のみ）



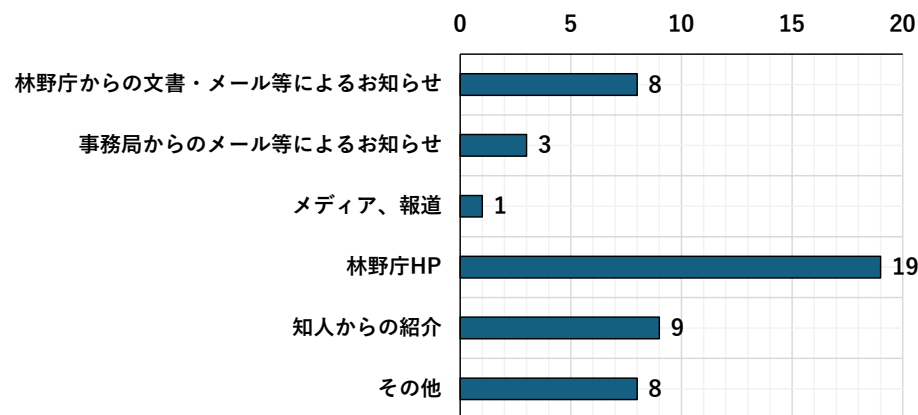
会員の森林・林業分野への参入状況（R6のみ）



会員の参入状況と業種分類（R6のみ）



プラットフォームを知ったきっかけ（R6のみ）



注：「林業」は業種が「林業（XXX）」のみ。「林業以外」は業種が「林業（XXX）」が含まれない。「林業&林業以外」は、業種が「林業（XXX）」「林業以外」が含まれる。

□ 森ハブ・プラットフォームを知ったきっかけ（その他）

■ 3件：森ハブ主催セミナー、3件：取引先等との情報交換、1件：雑誌、1件：他HPより

2-3. 森ハブPFの実施と会員の状況⑤（メルマガ配信）

- 会員間の交流促進・情報提供の場の創出に向けて、森ハブ事務局では月1～2回程度のメルマガジンの配信（メルマガ配信）を行っている。
- 情報提供の質と安全性、公平性を確保するため、一定のルールを設けた。
 - メルマガを開始した8月～1月23日時点で、メルマガ自体は計6回（トピック15件）配信した。
 - 林野庁・事務局を除く森ハブ会員からの情報提供は7件であった。

◇-----◇-----◇-----◇

1.【森ハブ PF】森ハブ会員情報提供 No.1

会員 東洋エンジニア株式会社

担当 ドローン事業部

連絡 [REDACTED]

東洋エンジニア株式会社は全国森林組合連合会からの委託事業として、スマート林業実装に向けた【「緑の雇用」事業「ドローン研修デジタル技術スキルアップ研修」】を開催します。

③ 岐阜会場（11月26日～28日）（①岩手会場、②福岡会場は終了）

【テーマ】林業におけるドローンの先進的利活用を促進させることを目的に本研修を実施

【日時】③岐阜会場 2024年11月26日

【場所】岐阜県大垣市上石津町一之瀬1

1.【森ハブ PF】森ハブ会員情報提供 No.3

会員 株式会社JVCケンウッド

担当 国内無線システム営業部 事業開発グループ

連絡 [REDACTED]

携帯電波圏外で音声&データ通信ができるハイブリット通信ソリューション！

▼ご紹介①▼ ☆.＊\[Soko-co(スタンダード版)]／☆＊ ＊ ＊ ＊

電波圏外での基本通信機能のみ対応することで低価格★

業務用無線機が発信する位置情報を利用するため、班長のみがスマホを保持し、伐倒者は無線機のみを携帯！

管理サーバーも使わないためランニングコストも安いのが特徴☆＊ ＊ ＊ ＊

→ [Soko-ko] [soko-co - プロ仕様の近距離オフライン通信パッケージ“ソココ” \(HP\)](#)

▼ご紹介②▼ \[Soko-co Forest(林業特化版)]／☆＊ ＊

林業向けの林小班界表示や危険エリアアラート機能など、様々な知見を投入したハイエンドモデルのソリューション☆

多くの県や県森連、林業大学等にて実証を行って頂いており、業務効率改善、災害予防に役立つと高い評価を得ております★＊

→ [YouTube] <https://www.youtube.com/watch?v=zh0axJ1wcOM>

No.	掲載対象の内容（トピック）	件数
1	イベント、講習会等のお知らせ	9 件
2	補助金、表彰式等の募集のご案内	2 件
3	林業イノベーションに資する製品・サービスに関する情報や、それらの導入効果	1 件
4	ワーキング・グループ（WG）関係のお知らせ	3 件

図 メルマガ配信内容の例示（抜粋2件）

2-4. 森ハブPFの実施と会員の状況⑥（9/20イベント開催結果1）

第2回 再掲

日程

令和6（2024）年9月20日（金）14:30～16:30

会場

東京国際展示場
会議棟6階 607+608会議室

次第

タイトル

森林・林業分野における“新規事業開発プロセス”を考える

趣旨説明 森ハブ・プラットフォームの趣旨を説明した。

一重 喬一郎 氏（林野庁）

基調講演 林業における新規事業開発のポイント

中間 康介 氏（一般社団法人社会実装推進センター 代表理事・株式会社GREEN FORESTERS 取締役 CSO）

幅広い業種のスタートアップ支援コンサルタントの立場から造林事業のスタートアップを実現してきた。

林業分野の様々な慣行を乗り越えて新規事業開発を成功させるポイントについて、紹介した。

トークセッション 新規事業開発の実例から

【開発】小林 俊仁 氏（株式会社はんぽさき 代表取締役）

【ユーザー】望月 貴治 氏（株式会社白糸植物園）

チームで使う共有地図LivMap（リブマップ）の事業開発プロセスについて紹介した。

まとめ（総括）

立花 敏 氏（京都大学）



写真 イベント開催 講演中（趣旨説明）



写真 イベント開催 参加者同士の対話



写真 イベント開催 トークセッション

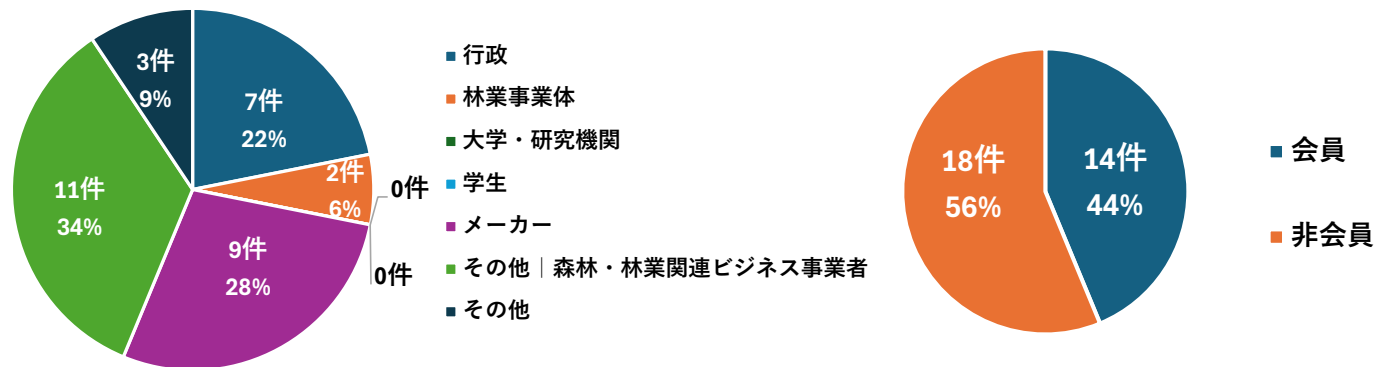
2-4. 森ハブPFの実施と会員の状況⑦（9/20イベント開催結果2）

第2回 再掲

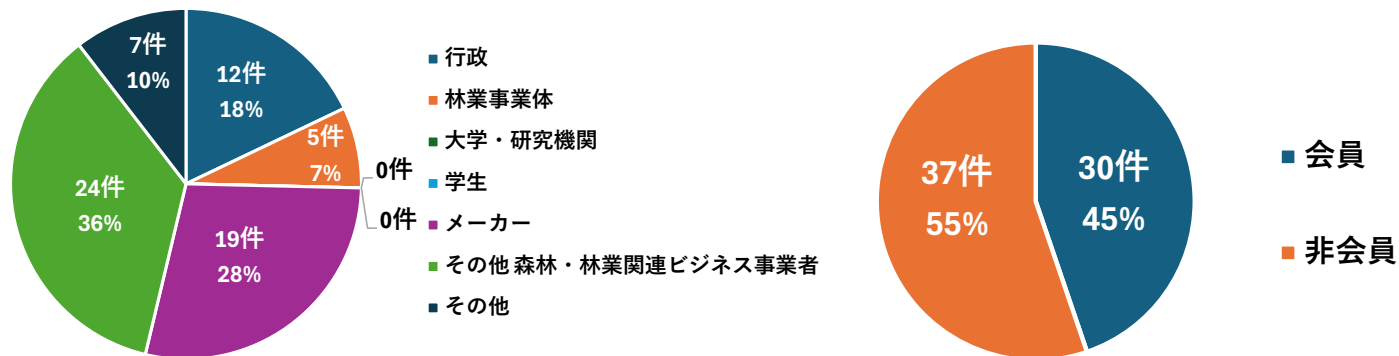
□ 一般参加型イベントの開催後、アンケートを実施した。

- アンケートの回答数を増やす試みとして、回答した参加者のみ講演資料一式をデータで送付した。
- 有効回答数は32件。回答率は47.7%であった。

イベント開催後のアンケート参加者属性



（参考） イベント開催中の参加者属性



2-4. 森ハブPFの実施と会員の状況⑧（9/20イベント開催結果3）

第2回 再掲

基調講演・トークセッション・イベント自体の満足度

□各講演等の満足度

基調講演 平均評価 4.1 トークセッション 平均評価 3.7 イベント（全体） 平均評価 3.9

□各満足度の回答理由（任意：自由記載）

- 運営への要望 投影資料は事前にほしい。講演は興味深かった内容もあったがスライドの字が小さい。
- 内容への要望 新規事業のカテゴリ分けをもう少し深掘りしてほしい。
事例は地図アプリで汎用性が高いものだったか、より林業に特化した内容のものを取り上げてほしい。
参加者の属性（立場）に応じた内容で、もう少し話を聞きたい。
- 所 感 等
 - ✓ 基調講演 2件 基調講演の内容がわかりやすい。新規事業を体系的に話していたのが興味深かった。
 - ✓ 意見交換 3件 参加者同士の意見交換の時間が新鮮。意外と面白かった（森ハブの趣旨に沿っている）。普段話す機会のない業種の方の考え方や発想を知ることができた。
 - ✓ 新規事業 2件 新規事業開発の参入障壁に気づくことができた。立ち上げ時の苦労話が聞けてよかった。
 - ✓ 情報収集 5件 詳しい現場の話が聞けたから。想像と違ったものの有用情報が得られたため。懇親会で森林組合の話など聞けて有難かった。
参入障壁や開発方向性で疑問に感じていた部分について、林業業界の関係者の意見が聞けて参考になった。
非会員でイベントに初参加であった。非常に有益な情報を得られて来た甲斐があった。
 - ✓ その他 4件 トークセッションは少し話が解りにくかった。便利で格安なアプリを知ることができた。事業開発モデルケースとして適当だった。新規産業の定義がお互いで異なっていた。

2-4. 森ハブPFの実施と会員の状況⑨（9/20イベント開催結果4）

第2回 再掲

林業分野の”新規事業開発プロセス”について、イベントに参加して開催前・後で考え方に変化はあったか

□イベント開催前後の考え方の変化

変化がある 21件：67% どちらでもない 10件：31% 変化がない 1件：3%

□回答理由（任意：自由記載）

■変化がある

- ✓ **開発関連 4件** 何を価値として提供するか、ニーズとターゲットをより細分化をする必要性を感じた。
特化させすぎる製品を作ると、その後の展開が限定される点等今後の参考になった。
個別対応せずに汎用性を高めてコストを下げる、といった考えは思いつかなかったため。
汎用性をもっと検討すべきで、個別のニーズを捉えることに注力しすぎている。
- ✓ **参入関連 4件** 林業分野が、他分野からの参入を求めていることを初めて知った。
今まで林業分野に興味がある人はいても、話が先に進まない理由が分かりやすかった。
自分の思っていたものと違い、なかなか参入出来ない世界だと感じた。
農業市場に比較し林業市場が小さいということを知り、随分、考え方に変化が生じた。
- ✓ **その他 4件** 具体例が多く参考になった。顧客の話を聞く重要性を痛感した。
森林組合への生産性アップ/提案。漠然と思っていた事が理路整然と解説され理解できた。

■どちらでもない

- ✓ 新規事業の定義に相違があったので、どちらでもない、と回答した。
- ✓ ”新規事業開発”と言っても様々な分野がある。本日の内容は参考になる部分もあったが、あまりならない部分もあった。

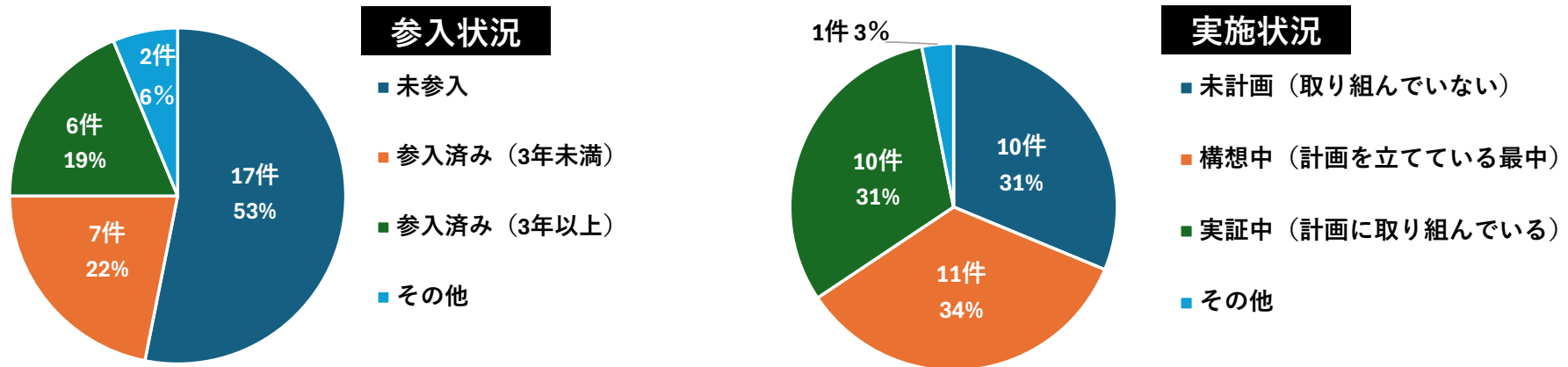
■変化がない

- ✓ 従来より中間さんの考えに近く、考えは変わりませんが賛同します。

2-4. 森ハブPFの実施と会員の状況⑩ (9/20イベント開催結果5)

第2回 再掲

林業分野での新規事業の開発に関する「参入」状況と「実施」状況



□「未参入 17件」について (6件 会員、11件 非会員)

- 実施状況の内訳は、10件が未計画、6件が構想中、1件が実証中
- 開催前後の考え方の内訳では、11件が変化がある、5件がどちらでもない、1件が変化がない

□「参入済 (3年未満) 7件」について (4件 会員、3件 非会員)

- 実施状況の内訳は、0件が未計画、2件が構想中、5件が実証中
- 開催前後の考え方の内訳では、6件が変化がある、1件がどちらでもない、0件が変化がない

□「参入済 (3年以上) 6件」について (3件 会員、3件 非会員)

- 実施状況の内訳は、0件が未計画、2件が構想中、4件が実証中
- 開催前後の考え方の内訳では、3件が変化がある、3件がどちらでもない、0件が変化がない

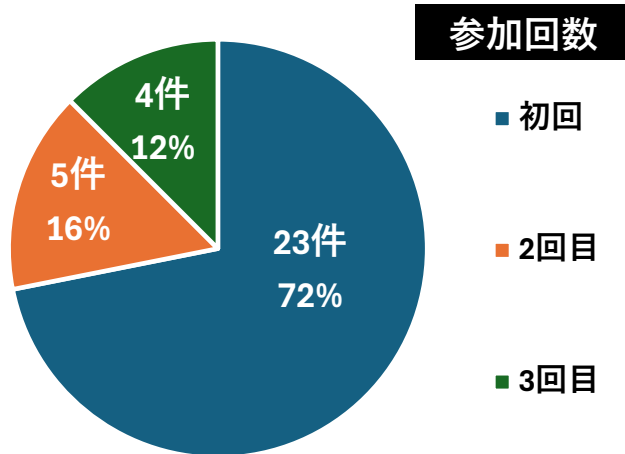
□「その他 2件」について (1件 会員、1件 非会員)

- 1件 事業内容に該当がない。
- 1件 林業そのものではなく木質バイオマス事業に参入を検討 (構想中)。

2-4. 森ハブPFの実施と会員の状況⑪（9/20イベント開催結果6）

第2回 再掲

森ハブ・プラットフォームのイベントへの参加回数・次回イベントに向けた改善点や要望



□改善点や要望（任意：自由記載）

- 業界ルールや関連法規、実務担当者の課題を知る場があるとよい。
- 造林のスタートアップを知りたい（下刈り、獣害等）。
- 防災に関するトピックを作してほしい。
- マッチング体制の調整をしてほしい。
- プロジェクターの動作確認は事前に実施してほしい。
- 森林や林業に関心がある異業種の方の話が聞きたい。
- 「林業とは」という会があってもよいのではないか。
- 林業のみから間口を広げて、木質バイオマス等にも関係性を広げてほしい。

イベントへの所感等、自由記載

- 勉強になりました。また隣の方と色々お話でき、参考になった。
- もう少し新規会員や非会員が気軽に話せる仕組みを作って欲しい。
- 貴重な機会をいただきありがとうございました。
- 講演の中で、隣の席の方と話す機会があったのはよかった。
- 新規事業を検討している方が1/3いたのは驚いた。

2-6. 森ハブPFの実施と会員の状況⑬ (WGの設置・運営支援1)

- ワーキング・グループ（以下、WG）は、特定のテーマに関し定期的に意見交換・議論を行い、その成果を取りまとめたいという会員が集まり設立するものである。
- 森ハブ事務局は、その設置・運営を支援する。
 - WG運営主体からの情報を会員に共有することが主となる。

WGの設置・運営支援における事務局の動き

- 応募募集 2025年10月7日～24日 参加募集を実施
- 審査対応 10月31日 第2回専門委員会で採用WGを審査
3件の応募のうち2件を採用（事務局が採用候補を選定→委員会にて承認）
- 採用連絡 11月11日 応募会員に足して審査結果をメールにて通知。これ以降は会員ごとで活動。
- 支援内容 11月25日 メルマガ配信にて採用されたWGを案内
12月 2日 森ハブHPのNEWSにて告知



2-6. 森ハブPFの実施と会員の状況⑭（WGの設置・運営支援2）

エネルギーの森づくりWG（株式会社エコグリーンホールディングス）の概要

- **設置目的** 早生樹等を活用した短伐期のエネルギーの森を作るWG
- **参加者数** 1月23日時点 8社が参加。
- **開催日程** ① 1月23日 初回はWG事務局の事業取り組みの紹介。各参加者の質疑応答がメイン
② 3月頃を予定している。

森林の生物多様性調査分析技術WG（日立建機株式会社）の概要

- **設置目的** 森林の生物多様性を改善する施業の増加により、林業界にいい影響を与えられる可能性があると考え、この可能性を大きくするために生物多様性分析技術のWGにて、技術領域の活性化を図る。
- **参加者数** 確認中
- **開催日程** ① 1月30日 WGの趣旨説明（生物多様性の調査分析技術を持つ企業の取組紹介）
② 2月頃予定 森ハブは生物多様性調査分析技術領域に貢献可能か。
③ 3月頃予定 WGの活動を通して林業業界に貢献できるか。

今後の事務局

- 3月14日（納品）までは、各WGの進捗状況を確認し、支援を行う。
 - WGを実施後、WG事務局には「WG活動報告」を作成し、提出してもらう。
 - 提出後、内容を確認し、会員に対してメルマガにて共有、森ハブHPにて掲載する。
 - 14日以降でのWGの開催の場合でも活動報告は受付て、林野庁へ適宜、提出する。
なお、メルマガや森ハブHPへの公開は、次年度以降の対応を想定する。

1. 森ハブ・プラットフォームのイベントについて

- 深掘りイベントの座談会の成果概要
- 2月シンポジウムの実施予定の報告

2. 森ハブ・プラットフォームの今後の運営方針

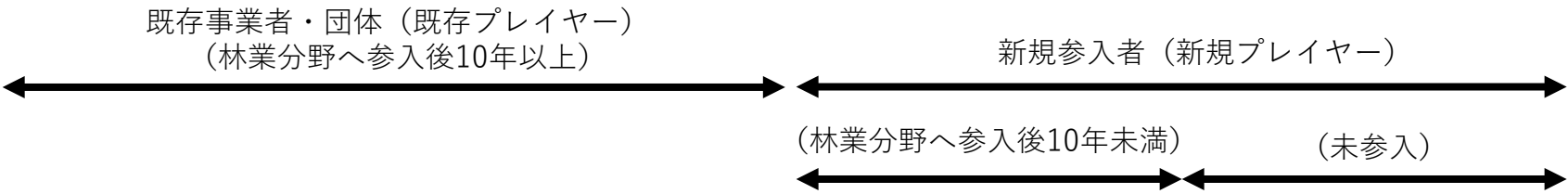
- 森ハブPFの実施と会員の状況
- 森ハブPFの会員の細分化

3. その他

- デジタル分科会の実施概要
- 安全対策検討会の進捗状況
- 宮崎県南那珂地域への伴走支援のフォローアップ
- 今後のスケジュール

2-7. 森ハブPF会員の細分化（意見交換）

□ 森ハブ・プラットフォームの設立趣旨である①作業の安全性の確保、②労働生産性の向上、③林業経営の収益性の向上を達成するためには、下表の「どのカテゴリー」に対して、「どのようなサービス」を提供することが、より効果的か。



	林業 経営体 （企業、 森林組 合）	都道 府県	市町村	林業 機械 メー カー	GIS ソフト ウェア 等のベ ンダー	研究者 （林学 系）	メー カー系	ソフト ウェア 系	その他 コンサル 等	メー カー系	ソフト ウェア 系	その他 コンサル 等
モチベー ション高い リテラシー 高い												
モチベー ション高い リテラシー 低い												
モチベー ション低い リテラシー 低い												

【参考】森ハブPF会員の細分化（意見交換）

イメージ

既存事業者・団体（既存プレイヤー）
（林業分野へ参入後10年以上）

新規参入者（新規プレイヤー）

（林業分野へ参入後10年未満）

（未参入）

	林業 経営体 （企業、 森林組 合）	都道 府県	市町村	林業 機械 メー カー	GIS ソフト ウェア 等のベ ンダー	研究者 （林学 系）	メー カー系	ソフト ウェア 系	その他 コンサル 等	メー カー系	ソフト ウェア 系	その他 コンサル 等
モチベー ション高い リテラシー 高い	★				マッチング				○	★		
モチベー ション高い リテラシー 低い		▲							●			○
モチベー ション低い リテラシー 低い		▲ 引き上げ								● マッチング + 引き上げ		○

例示

- ★：モチベーション高い・リテラシーも高い会員同士のマッチングを推進
- ▲：モチベーション低い・リテラシーも低い会員の意欲等の引き上げを推進
- ：モチベーション・リテラシーの感覚が異なる会員同士をマッチングし、意欲等の引き上げを推進

1. 森ハブ・プラットフォームのイベントについて

- 深掘りイベントの座談会の成果概要
- 2月シンポジウムの実施予定の報告

2. 森ハブ・プラットフォームの今後の運営方針

- 森ハブPFの実施と会員の状況
- 森ハブPFの会員の細分化

3. その他

- デジタル分科会の実施概要
- 安全対策検討会の進捗状況
- 宮崎県南那珂地域への伴走支援のフォローアップ
- 今後のスケジュール

3-1. 第3回デジタル分科会の実施結果（概要）

日程 令和7（2025）年1月23日（木）13:30～16:45

会場 日本森林技術協会 3階 大会議室
（Web会議「Webex」併用）

- 次第**
- (1) 事業の実施報告（最終報告）
 - (2) デジタル林業戦略拠点採択地域からの報告
 - ・ ①北海道地域、②静岡地域、③鳥取地域、
 - ・ ④事務局：横展開に関する進捗状況（チェックリスト等）
 - (3) 意見交換（質疑応答）

参加者

【委員等】 鹿又委員（座長）、中澤委員、高橋委員
岡田 広行 氏（オブザーバー、住友林業株式会社）

【デジ林3地域】 北海道地域、静岡地域、鳥取地域

【事務局】 林野庁、日本森林技術協会



写真 第3回デジタル分科会 開催風景

今年度の開催結果

回数	開催時期	主な検討内容
第1回	令和6（2024）年 7月22日（月） 対面＋Web併用	❑ 事業の実施概要 ❑ 横展開に向けた検討の実施方針案 ❑ デジタル林業戦略拠点採択地域からの報告（北海道、静岡、鳥取）
第2回	令和6（2024）年 9月5～7日（木～土） 現地検討会（鳥取県）	❑ 鳥取県デジタル林業コンソーシアムの取組を視察 ■ 現地を視察し、忌憚のない意見を聴取する。 ■ 分科会委員、デジ林3地域、林野庁、事務局で意見交換を予定
第3回	令和7（2025）年 1月23日（木） 対面＋Web併用	❑ デジタル林業戦略拠点採択地域からの報告（北海道、静岡、鳥取） ❑ 横展開に向けた検討の実施方針案の進捗・提案

1. 森ハブ・プラットフォームのイベントについて

- 深掘りイベントの座談会の成果概要
- 2月シンポジウムの実施予定の報告

2. 森ハブ・プラットフォームの今後の運営方針

- 森ハブPFの実施と会員の状況
- 森ハブPFの会員の細分化

3. その他

- デジタル分科会の実施概要
- 安全対策検討会の進捗状況
- 宮崎県南那珂地域への伴走支援のフォローアップ
- 今後のスケジュール

3-2. 安全対策の検討の実施結果（概要）

開催回	開催時期	議事内容等	備考
第1回	7月31日	(1) 本検討会の概要 (2) 林業機械の安全にかかる現行規定 (3) 林業機械の活用・開発の現状 (4) 他産業におけるガイドラインの事例 (5) リスクアセスメントの概要 (6) 要検討事項等	
第2回	9月9日	(1) ガイドラインの適用範囲等 (2) 機械メーカーヒアリング ①伐倒作業車（松本システムエンジニアリング株式会社） ②フォワーダ（株式会社諸岡） ③集材機（イワフジ工業株式会社）	オブザーバー 参加なし
第3回	11月15日	(1) ガイドラインスケジュール (2) ガイドライン検討	オブザーバー 参加なし
ガイド ライン 照会	12月23日 ～ R7 1月10日	・ガイドライン（案）の照会（検討委員等からの意見集約）	ガイドライン 追加修正中
アン ケート	R7 1月14日 ～ 1月31日	・自動運転林業機械及び遠隔操作林業機械の開発・実用化・販売状況に関するアンケート調査（対象：林業機械の製造者・販売者等）	調査実施中
第4回	R7 2月18日	(1) ガイドライン（案）最終調整 (2) 自動運転林業機械及び遠隔操作林業機械の開発・実用化・販売状況に関するアンケート結果 (3) 来年度以降の取り組み内容	オブザーバー 参加なし

3-2. 第3回安全対策検討会の実施結果（概要）

日程

令和6（2024）年11月15日（金）13:30～16:30

会場

三番町共用会議所 大会議室
（Web会議「Webex」併用）

次第

- (1) ガイドライン作成スケジュール
- (2) ガイドライン検討



写真 第3回安全対策検討会 開催風景

参加者

- 【委員等】 陣川委員（座長）、中澤委員、岩岡委員、齋藤委員、石井委員、天田委員
淡田委員、舞草委員、中島委員、飯澤委員、松本委員、堀江委員
- 【オブザーバ】 秋岡氏（林業・木材製造業労働災害防止協会）
- 【行政】 東氏（厚生労働省労働基準局）
- 【事務局】 林野庁、日本森林技術協会

【参考】ガイドライン（案）意見照会

目的

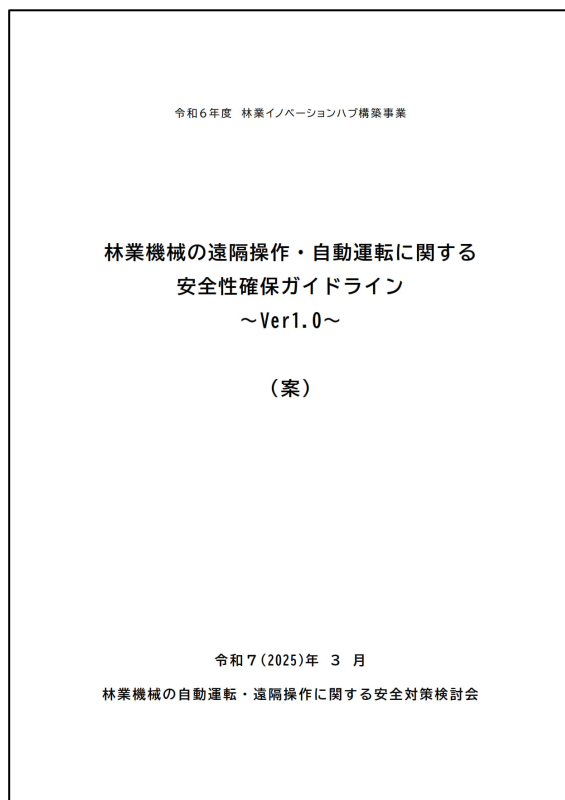
第3回安全対策検討会の結果を基に作成した安全対策ガイドライン（案）の内容について安全対策検討会検討委員等からの意見を確認

実施期間

令和6（2024）年12月23日（月）～ 令和7（2025）年1月10日（金）

対象者

安全対策検討会 検討委員及び行政関係者



ガイドライン（案）表紙

< 目次 >	
第1章. 概要	1
1.1. 基本的な考え方	1
1.2. 適用範囲	1
1.3. 参照する指針等	1
1.4. 用語の定義	2
第2章. 共通事項	6
2.1. 安全性確保の原則	6
2.2. リスクアセスメントと保護方策	6
2.3. 安全性確保のための関係者の取組	8
2.4. 使用上の条件等	12
2.5. 遠隔操作林業機械に関する要求事項	13
第3章. 林業機械の種類別追加事項	15
3.1. 伐倒作業車	15
3.2. フォワーダ	16
3.3. 集材機及び搬送機	16

ガイドライン（案）構成

1. 森ハブ・プラットフォームのイベントについて

- 深掘りイベントの座談会の成果概要
- 2月シンポジウムの実施予定の報告

2. 森ハブ・プラットフォームの今後の運営方針

- 森ハブPFの実施と会員の状況
- 森ハブPFの会員の細分化

3. その他

- デジタル分科会の実施概要
- 安全対策検討会の進捗状況
- 宮崎県南那珂地域への伴走支援のフォローアップ
- 今後のスケジュール

3-3. 今後のスケジュール

事業内容		令和6（2024）年								令和7（2025）年			
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2-3月	3月	
① 専門委員会				★済 7/30			★済 10/31			★ 1/27			
② デジタル分科会				★済 7/22		★済 9/6～7				★済 1/23			
③ 安全対策検討会				★済 7/31		★済 9/9		★済 11/15			☆ 2/18		
① コーディネーター派遣 ② （事務局からの）助言	北海道	★済 5/20	初 回 打 合 せ		★済 8/8～9			●Web 11/27			☆ 3/6		
	静岡県	★済 5/22		★済 7/17			★済 11/27			☆ 2/10～			
	鳥取県	★済 5/22			★済 8/1～2		●Web 11/27	●Web 12/16 ～18		☆ 3月中			
採択地域外への横展開				← 派遣同行を通じて、情報収集等 →						情報 整理			
森ハブ・プラットフォーム事務局		HP開設準備		★公開 8/9	← HP公開 情報発信・提供 →								
						11/1～ メールマガジン配信開始							
		← 会員登録・更新、情報発信・提供、必要な事務運営の実施 →											
ニーズ・シーズ等の把握と情報提供		← 情報共有シートの収集・更新、各種ニーズ・シーズの整理・提供 →											
イベント開催・会員間交流						★済 9/20				☆ 2回分 公開	☆ 2/6		
WGの設置・運営支援		← 要望調査 準備 →				★済 調査 審査	★済 11/11 採用通知	← WGの周知等 →					
安全対策の検討 自動運転・遠隔操作		← 検討会で検討した内容の整理 現況調査の実施・整理 →								成果 内容 整理			
シンポジウム等による成果の発信							← 関連事業等 関係者打合せ →			開催準備 事前周知		☆ 2/6	

3月14日（金）
納品日

3月14日（金）
納品日